

キャラクター名
神田 八雲(シナリオクリア後条件)

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルヒロウ ハヌマーン		ワークス	暗殺者	カヴァー	高校生
	オプション		年齢	16	性別	女
覚醒	感染	衝動	加虐	初期侵食率	29	%
出自	貧乏	経験	殺傷	邂逅		

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	1	0	0			1	行動値	14
感覚	4	1	1			6	(非装備時)	14
精神	2	0	0			2	戦闘移動	19
社会	1	0	2			3	全力移動	38

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	7		射撃	1		RC			交渉		
回避			知覚			意志	3		調達	5	
運転 :バイク	2		芸術 : 話術	4		知識 :	2		情報 :裏社会	1	
運転 :			芸術 :			知識 :			情報 :ウェブ	2	
運転 :			芸術 :			知識 :			情報 :		
運転 :			芸術 :			知識 :			情報 :		
運転 :			芸術 :			知識 :			情報 :		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品	
ナイフ (刺身包丁)	

合計装甲 : 0 合計回避 : 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
変異種	P	N		
神田 秋水	P 慕情	N 嫌気		
親の商売敵	P 懐旧	N 憎悪		
咲月 両末	P 驚いていいがしる	N 困惑		
水森 律果	P 慕情	N 無関心		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 16 残り財産P: 12

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果 :	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果 :	コスト分のHPで復活							
光の舞踏	1	2	X/リ			白兵		
効果 :	感覚代用可能							
援護の風	5	2	オート	視界	単体	自動		
効果 :								
ウィンドブレス	3	2					リミット	
効果 :	援護の風使用の達成値 +L×3							
コンセントレイト ; Hi	2	2	Xジャー			sy		
効果 :	C-LV							
陽炎の衣	2	3	マイナー					
効果 :	隠密状態になる、メイン終了時に解除、エンゲージしていても使用可							
高速の剣	3	1	Xジャー	武器		白/射		
効果 :	隠密状態前提、ガード不可、シナリオL回							
マスヴィジョン	5	4	Xジャー			sy	100↑	
効果 :	ATK+L×5、シナリオ3回							
見えざる死神	3	2	Xジャー			白/射		
効果 :	隠密状態前提、判定D+1、ATK+L×3							
クロックアップ	2	4	Xジャー			sy		
効果 :	判定D+3、ATK+5、シナリオL+1回							
一閃	1	2	Xジャー			白兵		
効果 :	移動後攻撃							
獅子奮迅	1	4	Xジャー			白兵		
効果 :	範囲化、シナリオL回							
七色の声	★							
効果 :	声を変えられる							
見放されし地	★							
効果 :	一定範囲を闇で閉ざす							

基本1、2、EA、HR、上級使用 フルスクラッチ
概要
かんだ やくも ふわふわとした穏やかな少女。学校でもお姉さんのような立ち位置で見られている。家はフリーランスのライターである父親がよく取引先からお金を出してもらえないためゆるゆるの貧乏である。何回か商売敵から炎上、荒らし、殺害予告等の嫌がらせを受けていた父親を見かねて相手に電話をかけたつづ情報を引き出し自宅に押し入って殺して帰ってくることをしていた(警察も変死体としてしか認識しておらず、いまだ捕まってない)本人はこのことに関しては「殺しておかないと面倒でしょう?」と罪悪感はない。殺人をすることはそれ相応の覚悟がある人間であると信じている節がありそれ自身が自分と同じところで墮ちたとみなす。とはいえ普段は普通に本を読んでカフェでバイトをして誰かとおしゃべりする普通の生活をしているため、ただの前科もちで神経がすさまじく太いだけの普通の子供生である。一人称私、二人称あなた。敬体と常体は割と適当に混ざっている。家族は両親と兄(直哉)と弟(独歩)1人ずつ

性格
基本的に損得勘定と責任感のみで動いている人の心が理解できない人間。そしてそれは生死にまで適用される。例外は家族と仲のいい身内のみ。さらに大多数の人間は損得と悪意で動いていると思っている一種の諦め込みの人間不信。自分もそれと同等、あるいはそれ以下のろくでなしであることは理解しており、それでも生きていようとする自分に内心幻滅しながら生きている。覚醒して更に死にくく、また衝動のせいで生き汚くなってしまったのでますます幻滅は加速している。他人は嫌いだ自分はもっと嫌い。活字中毒であり、本を与えておけば大抵は大人しい。行動指針の大抵は本の主人公を元に培われているので、責任感人並みよりやや強め。

関係性
水森 律果→「水森さん」、たまたま選挙管理委員会が一緒になった。委員会内ですぐにほかの生徒と打ち解けている彼女は自分とは違う人間なんだろうと薄っすら思っている。彼女にしては非常に珍しく、好きでも嫌いでもない。
咲月 両末→「両末くん」、家も近い幼馴染。幼稚園からの間柄。お互いになんとなくの人となり把握している。親しい人、傷つけるべきではない人という認識だったがいきなり殺し合いを求めてきておかつそこで自分が死ぬならまだしも生き残ってしまったため大変混乱している。命が大事という考えにはあまり賛同